

2020年度
子育て相談「ママ・カフェ」報告書



2021年3月



ささゆりの会
(特定非営利活動法人アスペ・エルデの会正会員団体)

はじめに

子育て相談「ママ・カフェ」は、発達障がい児・者を持つ親が、孤立を防いで一人で悩まないように、当事者同士の支え合いを推進していくことを目的としています。

子どもの将来に不安を感じている親から『同じ立場の親からの話を聞いてみたい』という声に応え、2012年から不定期で始めました。

「こんな事しゃべってもいいかな？」と思うようなことでも、悩みを共有できる同じ親同士、気軽に話すことで、日頃の不安やもやもやした気持ちを軽減し、前向きな子育ての力になればと思います。

相談会概要

開催日	時間	開催場所
5月12日(火曜日)	10:00~12:00	中止
6月16日(火曜日)	10:00~12:00	zoomオンラインママ・カフェ
7月21日(火曜日)	10:00~12:00	豊橋市保健センター 第1会議室
9月15日(火曜日)	10:00~12:00	zoomオンラインママ・カフェ
10月 6日(火曜日)	10:00~12:00	豊橋市保健センター 第1会議室
11月17日(火曜日)	10:00~12:00	豊橋市保健センター 第1会議室
2021年 1月19日(火曜日)	10:00~12:00	豊橋市保健センター 第1会議室
2月 9日(火曜日)	10:00~12:00	豊橋市保健センター 第1会議室

【主催】 ささゆりの会(特定非営利活動法人アスペ・エルデの会正会員団体)

【愛知県ペアレント・メンター等活動推進連絡会 登録メンター】 14名

【参加費】 無料

【案内方法】 ささゆりの会HP、Twitter、Facebookで案内。チラシの配布

【開催方法】 10:00~11:00 11:00~12:00

各相談者2名の完全予約制で実施

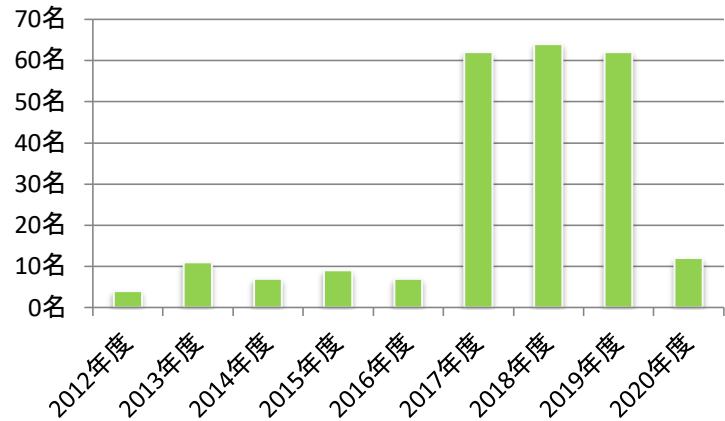
メンターが2~3人1組で相談者1名に対応

予約はインターネットで受付



年度別相談者数の推移

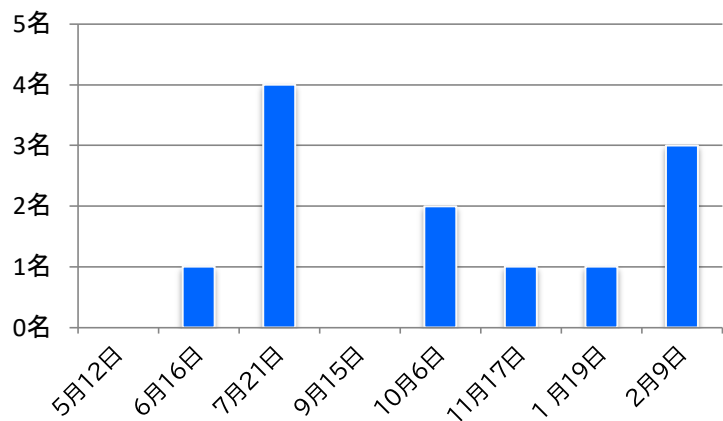
2012年度 不定期開催(年1回)	4名
2013年度 // (年3回)	11名
2014年度 // (年2回)	7名
2015年度 // (年3回)	9名
2016年度 // (年2回)	7名
2017年度 定期開催(年8回)	62名
2018年度 // (年8回)	64名
2019年度 // (年8回)	62名
2020年度 // (年8回)	12名
合計	238名



2017年度より年8回の定期開催開始。2019年度までは、申し込み不要、時間内出入り自由として参加しやすい環境で1回平均7～8名の相談者が来場しました。
2020年度は、新型コロナウイルスの影響により1回の中止、7回は予約制で開催。

相談者数の内訳

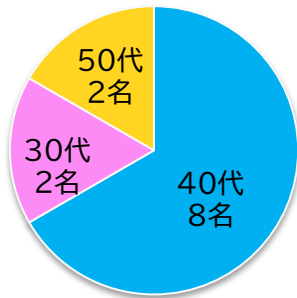
開催日	相談者数
5月12日	中止
6月16日(zoom)	1名
7月21日	4名
9月15日(zoom)	0名
10月6日	2名
11月17日	1名
1月19日	1名
2月9日	3名



5月は、新型コロナウイルスの影響により開催中止。
6月と9月はzoomによるオンラインで開催。
残り5回は人数限定の予約制で開催。

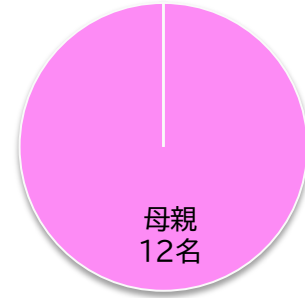
相談者について

▶ 相談者年代(総数12名)



65%以上が40代でした。

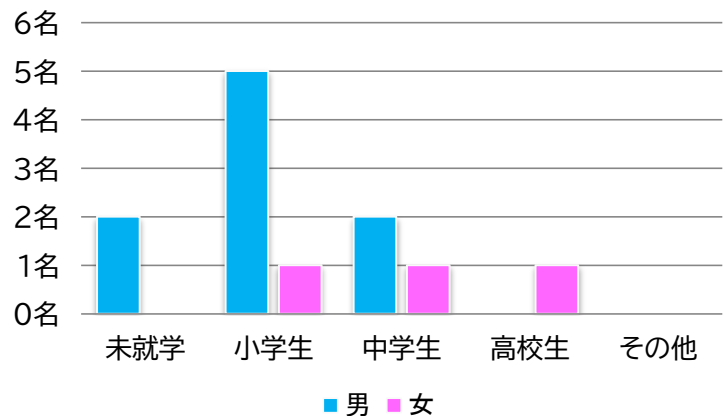
▶ 参加者内訳(総数12名)



100%母親でした。

▶ 相談対象の子どもの内訳(延べ人数)

性別	未就学	小学生	中学生	高校生
男	2名	5名	2名	0名
女	0名	1名	1名	1名

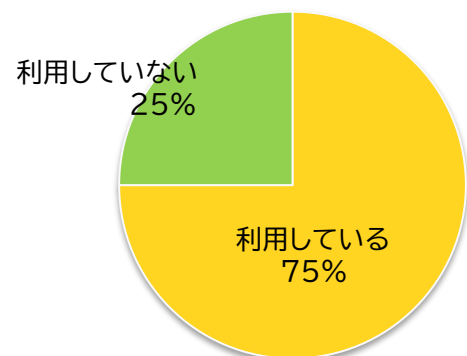


小学校生活がうまくいっていない、進路への迷いなど、学校へ通いだしたことで具体的な悩みが出てきて将来が不安になってきたお母さん方が多い。

▶ 医療機関の利用

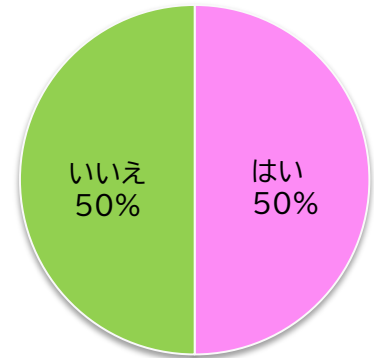
利用している	9名
利用していない	3名

利用していない3名は、以前は医療機関を利用していたがグレーゾーンという診断を受け、親の考えで通うのを辞めた。利用者は、年2~3回程度通っている方が多い。



▶ 何か療育を受けていますか

はい	6名
いいえ	6名



利用している療育の種類は、言語訓練、SSTや児童発達支援事業所、放課後等デイサービスなど。

利用していない理由として、グレーゾーンで様子を見ようと言われた。小学校に入ってからは受けていない、子どもが行きたくないなど。

相談会について

▶ 相談会 感想

満足	12名
まあまあ満足	0名
どちらともいえない	0名
やや不満足	0名
不満足	0名



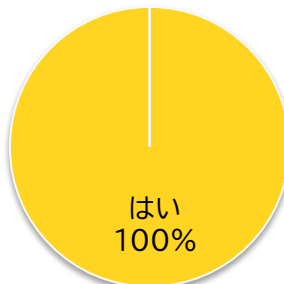
▶ パARENTメンターの話は参考になったか

参考になった	12名
参考にならなかった	0名
どちらともいえない	0名
その他	0名



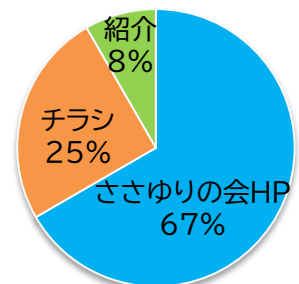
▶ また参加したいですか？

はい	12名
いいえ	0名
どちらともいえない	0名



▶ 何処で知りましたか？

ささゆりの会HP	8名
チラシ	3名
紹介	1名
その他	0名



SNSでの案内とチラシは約500枚を医療機関や公共施設などに設置依頼。様々な施設から「ママ・カフェ」を紹介してもらうなどご協力をいただきました。

相談内容一例 子どもの年代別

▶ 幼児

- ・発達検査について(いつ受けたのか?どう申し込んだのか?)
- ・幼稚園の決め方
- ・おうち療育をしているか?
- ・兄弟児への説明
- ・時間が許す限り取り留めもなく話をしたい
- ・グレーゾーンと言われて療育の必要がなく、通っている保育園や家庭で子どもに合ったフォローをするようにと言われている。保育園での集団生活や家庭での困りごとの対応に悩むことが多い。
- ・年少から加配対象になったが専属ではないので、ついていけるか不安
- ・2歳児クラスだが、教室で走り回ることも多く、落ち着く日と荒れる日の差が激しい
- ・グレーの子に合った園があるなら、そちらに移ったほうがいいのか?幼稚園の情報が欲しい
- ・人の話が聞けない
- ・社会性がなくコミュニケーションが取れない
- ・友だちと遊ばない
- ・集団生活に慣れない
- ・集団指示が聞けない
- ・偏食
- ・手が出る
- ・園ではおとなしく、ほっておかれているようで心配
- ・病院では、療育の必要なしと言われたが、母親としては療育の必要を感じる

▶ 小学生

- ・他の方の体験談前向きな療育方法を教えて欲しい
- ・会の子どもが参加できる療育内容、行事、夏休みの過ごし方など
- ・会の母親の活動内容
- ・不登校になっているので、親の対応について話をしたい
- ・障害があると分かっているけど、子どもの言動や行動に対して抑えきれない感情をどうやって対応しているのか?
- ・主治医とはあまり話を聞いたりできないので・・・
- ・低学年だが、月2回以上夜おもらしをする
- ・人見知り、場所見知り、初めてのことはくい付きが悪い
- ・運動が苦手
- ・担任が怖い
- ・自己否定が強い
- ・支援級はイヤ
- ・お母さんとして、いろいろな話を聞く場所が欲しい
- ・昼夜逆転しつつある
- ・勉強はできるが取り掛かりが苦手
- ・授業中ボーとしている

▶ 中学生

- ・進路選択についてアドバイスは経験談を聞きたい
- ・成績は良いが、高卒就職を先生に勧められた。就職して続けられる仕事があるのか・・・と心配。
- ・自立に向けた情報を教えて欲しい
- ・中学校卒業後の進路が決まらない(家に居る状態)
- ・LGBTの対処について

<次のページに続く>

- ・感覚過敏・ちょっとしたことでネガティブになる
- ・ペアレントトレーニングを受けたい
- ・人に合わせるのが不安
- ・一斉に全員に向かって話されるのが苦手

▶ 高校生

- ・高校卒業後の進路、就職（一般、障害者枠）など
- ・スマホを5回なくす
- ・危機管理が薄い（知らない人から声をかけられても対応してしまう）
- ・ハローワークの使い方



相談者からの意見・感想

- ・すっかり安心してお話させていただきました。40分あっという間でしたが、少しの時間でも先輩方の体験談、ご意見を聞くことは私にとっては、とても大切だと思いました。次回もzoomミーティングがあればぜひ参加したい。
- ・いろいろアドバイスをありがとうございました。
- ・とても参考になりました。ずっと理解できなかったことが分かったり、こうしたほうが良いというのを優しく教えてくれて本当に来て良かったです。
- ・親身に話を聞いてくれてありがとうございました。
- ・具体的な情報や体験談を聞かせていただき、とてもありがたかったです。このような機会を作っていただきありがとうございました。
- ・経験からのアドバイスをたくさん教えていただきありがとうございました。同じ特性を持つ子どものお母さん達がこうして具体例を交えてお話をしてくださることが心強いです。
- ・医療につながることの大切さ、ヘルプを出す、挨拶、バイト経験など1つずつ積み重ねていきたいです。
- ・初めての参加でした。コロナで予約でしか参加できないのは残念でしたが、ゆっくりと相談し話を聞いて頂けてとても満足です。経験談を聞いたのもとても参考になりました。0歳児を抱えていて、外出が難しい時もあるのでzoom開催もあると嬉しいです。
- ・話を聞いて聞いて頂きありがとうございました。また機会があれば参加したいです。
- ・悩んでいたことを気さくに話せて、しっかり聞いてくれたので話しているうちに気持ちも落ち着いてきました。発達のことは、周りの友達等にも相談することもあります、「そんなことないよ」とか「大丈夫だよ」とかなぐさめてもらえる事はあってもなかなか具体的な解決にはならず、モヤモヤすることが多くて言わないことも多いです。ここでは、気になっていた情報も教えてくれたり、共感してもらえたりして、知りたかったことが知れたので、子どもへの接し方等もヒントをもらえて来て良かったです。

成果

アンケート結果にもあるように、「相談会に満足している」「また参加したい」「ペアレントメンターの話は参考になった」すべて100%でした。自分の子どもの悩みを話すのに前置きは一切要らないので、親にとっては負担が少なく、しかも同じ悩みを経験した親同士という立場のため、友人には相談できないこと、専門家には聞けないような些細なことも気軽に相談してもらえたと思います。

今回予約制にしたことで、一人の方にじっくり話を掘り下げて聞くことができ、子どもは何に困っているのか、親にとって困っていることは何なのか、不安に思っていることは何なのかなどなど、問題を整理でき、どうしていけばいいか解決の糸口を探すお手伝いできたと思います。

定期開催を行う中で、初めての方が次の回もと連続で参加したり、母親同士誘い合って参加したり、年に数回の方、あるいは数年ぶりに相談にと、参加は様々でした。

定期会場の他にも、学校や勉強会に招かれての出張「ママ・カフェ」など、私たちペアレントメンターを必要とする様々な会場に出向き、情報交換・交流の場を設けました。

何か困ったこと、聞きたいこと、しゃべりたいことがあれば、子育て相談「ママ・カフェ」に行ってみよう、来てもらおうという場所になってきたと思います。

おわりに

今年度は新型コロナウイルス感染症対策のため、第1回の5月は中止としてしまいました。どうすれば安全に「ママ・カフェ」を行うことができるかと考え、ZOOMを使ったオンライン相談や、完全予約制による人数制限などを取り入れ、参加方法を模索しながらの1年となりました。時間内の出入り自由・事前申込み不要の形式を取り入れて、多くの参加者を受け入れてきていただけに、とても残念でした。

来年度はコロナ禍の状況を考慮して、会場をしばっての開催となりますが、引き続き皆さんが気軽におしゃべりに来やすいような方法を考えていきたいと思っています。

